

広報紙で振り返る 令和4年の綾部市政

【人権尊重のまちづくり条例を施行】誰もが安心して心豊かに暮らしているまちの実現を目指し、4月に人権尊重のまちづくり条例を施行しました。

【天文館外壁と広場がリニューアル】4月、天文館のリニューアルを記念しいイベントを開催しましたⅡ写真②

【綾部雨水ポンプ場が完成】4月、綾部排水区の一部（延町周辺）の内水対策として、市が平成29年度から整備を進めてきた綾部雨水ポンプ場が完成。19日から運用を開始しましたⅡ写真①

【市野焼き火災対策連絡会議を設立】7月、府内で初の取り組みとなる、市野焼き火災対策連絡会議を設立。関係団体と連携して火災予防に取り組みます。

【大町バイパスが一部開通】8月、府道小浜綾部線の大町（五津台町）から片山（八津台町）までの700㍓と接続する府道舞鶴和知線の300㍓が供用開始。見通しもよ

く安全性が向上しましたⅡ写真⑥
【仮称】駅北複合施設設置工】11月、（仮称）駅北複合施設の整備工事が、青野町のJR綾部駅北側で始まりました。本年秋に、図書館と地域子育て支援拠点施設、地域交流施設の3つの機能を持つ複合施設が誕生しますⅡ写真④

その他の出来事

1月あやべ球場の愛称が「あやべ・日東精工スタジアム」に決定▽令和3年交通安全功労等の特別表彰を受賞2月山崎市政4期目に▽マイナンバーカードを利用した住民票の写しなどのコンビニ交付開始▽京都広報賞1枚写真の部で、本紙9月号の表紙が知事賞を受賞3月市PR動画を配信▽綾部警察署上林駐在所が、八津台町のいきいきセンターと市消防署上林出張所の隣に新築移転Ⅱ写真⑩4月本市が過疎法に基づき過疎地域に指定▽あやべ丹の国まつりが3年ぶりに開催Ⅱ写真⑦5月市とゼンリン

関西支社が災害時における地図製品等の供給等に関する協定を締結▽西八田小学校と志賀小学校が、青野町のあやべ健康プラザ水夢で水泳授業を開始6月中学生「みらい」会議を開催7月あやべ水無月まつりが3年ぶりに開催Ⅱ写真⑧8月豊里分団が第28回京都府消防操法大会（ポンプ車操法の部）で

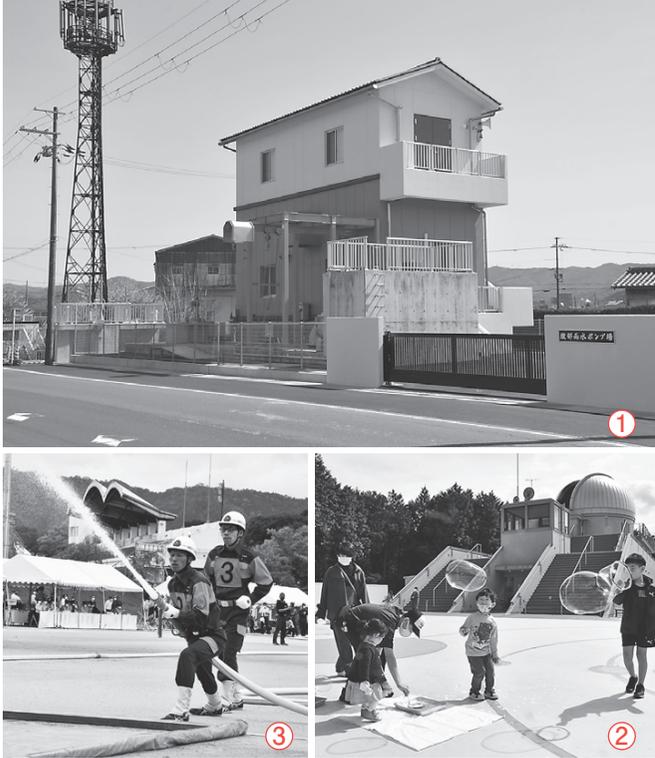
3位に入賞Ⅱ写真③▽市議会議員18人決まる9月市総合防災訓練を実施Ⅱ写真⑨10月あやべ産業まつりが3年ぶりに開催▽あやべ市民大学開講11月全国茶品評会で綾部市が2年連続産地賞受賞Ⅱ写真⑤▽あやべ水源の里フェスタを初開催12月京都労働局と綾部市雇用対策協定を締結Ⅱ本紙9面参照

与えています。本市はこれまで世界の恒久平和を市是として歩んできました。持続可能な社会の形成の第一には、平和を守ることの上になり立つていることを改めて思い知った次第であります。

また、感染症や気候変動に対する安全・安心のまちづくり、SDGsの取り組みやデジタル化の促進、人生100年時代の本格的な到来への対応など、行政課題は山積し、人口が増加の一途であった頃や、経済が高度成長を遂げた頃の成功体験や前例が通じない時代であり、どこにも正解がない不確定な時代に向き合っていかなければなりません。

とりわけデジタル社会の到来は、その技術の恩恵によってそれぞれのライフスタイルやニーズに合った心豊かな、質の高い暮らし

結ぶに、本年が良き年になることを願うとともに、皆様のご多幸とご健勝、内外の平和と安寧をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



令和5年 年頭のごあいさつ

綾部市長

小南 善也



市民の皆様、明けましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症のパンデミックは3年が経過し、停滞していた社会経済活動は創意工夫をもって動き出し、ようやくウィズコロナ、アフターコロナの時代に移りつつあると実感しています。さて、少子高齢化、人口減少社会が急速に進む中、大規模災害の頻発や感染症のまん延など、私たちは今、未曾有の困難な時代を迎えていると同時に、自治体を取り巻く環境も、これまでに経験したことのないような大きな時代のうねりに直面しています。

加えて、ロシアによるウクライナ侵攻は今もなお罪のない市民に攻撃が及び、人道支援もさることながら、世界経済に大きな影響を

特性を理解し行動しよう

視覚障害

視力や視野に障害があり生活に支障をきたしている状態。少し見える、明るさがわかる、全く見えないなど個人差があります。白い杖を持っている人もいます。

(こんなことが苦手)

・「あそこ」「向こう」などの説明がわからない
(こんなサポートを)

- ・「あなたの右1m」など具体的に説明する
- ・手を引かず、肩や肘をつかんでもらいゆっくりと誘導する
- ・説明している物に触れられるときは触れてもらう



肢体不自由

四肢や体幹の機能が損なわれ日常生活が困難な状態。

(こんなことが苦手)

- ・段差があり車いすなどで通れない
- ・届かないところに物やスイッチなどがある

(こんなサポートを)

- ・何を必要としているのか本人に確認する
- ・支援するときは必ず声をかける



精神障害

ストレスなどの原因で脳に何らかの機能障害があり日常生活が困難な状態。統合失調症やうつ病なども含まれる。

(こんなことが苦手)

- ・状況の急変や騒がしい状態
- (こんなサポートを)
- ・ゆっくりと相手に合わせて話す
- ・返事が返ってくるまで、ゆっくりと待つ
- ・軽い気持ちで「頑張って」などとは言わない



発達障害

生まれつき発達の偏りによって日常生活に困難をきたしている。

(こんなことが苦手)

- ・急な予定の変更
- ・相手の気持ちを察する
- (こんなサポートを)
- ・事前に今後の予定を説明する



聴覚・言語障害

聴覚障害は、まったく聞こえない、聞こえにくい、聞き取りができないなど。言語障害は声が出ない、滑らかに話すことが難しいなど。

(こんなことが苦手)

- ・マスクをしている人の話を聞き取る(口の動きが見えない)
- ・早口で話す

(こんなサポートを)

- ・マスクを外して口元を見せ、ゆっくりと話す
- ・手話や筆談などを利用する



※上記は一例です。

あなたも学んでみませんか?

○要約筆記養成講座

耳が聞こえにくい人や聞こえない人のために、話の内容を書いて伝える要約筆記の講座。全7回

○手話奉仕員養成講座「入門課程」

手話奉仕員を目標に、聴覚障害者との関わりを通して手話の基礎を学べます。全14回

詳しくは、
障害者支援課☎(42)4254まで

インタビュー

梅木 久代 さん(神宮寺町、73歳)

2歳のときに病気で聴覚を失い、40歳のときに視覚障害(全盲)になりました。目が見えず音も聞こえませんが触手話や点字などでコミュニケーションを取っています。

楽しみは、全国に100人以上いる友人とのメール。毎日時間を決めて、情報交換しています。

一人で自由に外出できないなどの困難や不安もありますが、自分で家事もできますし、皆さんと大きく変わらない生活をしています。

社会には私のように障害がある人が誰かに助けられながらも普通に楽しく暮らしていることを知って欲しい。また、一人ひとり感じ方や困り事が違うことを理解して接してほしいです。



編み物が得意な梅木さん、自分で編んだベストがお気に入りです。



届いたメールは点字に変換して読みます。

障害に理解を

考えよう!誰もが暮らしやすい共生社会



通訳者の手に触れ手話を読み取る「触手話」でインタビューに応じる梅木久代さん

本市の障害者数 (令和4年3月末時点)

障害の種別	人数
視覚	208人
聴覚・平衡	291人
音声・言語・そしゃく	31人
肢体不自由	1,158人
内部	711人
知的	415人
精神	405人

市は、平成30年4月に綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例を制定。障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重しながら安心して暮らしやすい「共生社会」の実現を目指しています。障害を学び、誰もが活躍できる社会について考えてみませんか。

理解と配慮で社会の障害を減らそう

本市には、障害のある人が3000人以上暮らしています。つまり、10人のうち一人に何らかの障害があるということです。障害にはさまざまな種類や特性があります。見た目ではわからない障害や重複の障害がある人もいます。障害のある人が感じる困難は、自身の機能障害による不便だけでなく、社会との接点で感じる不自由が多いと言われます。障害の有無にかかわらず暮らしやすい社会にするため、



本稿のイラストは平成29年度に綾部中学校美術部の皆さんに描いていただいたものです

めには、社会全体で不自由さを改善していくことが重要です。

それぞれの障害の特性に理解を

障害には▽視覚障害▽聴覚言語障害▽肢体不自由▽内部障害・難病▽精神障害▽知的障害▽発達障害▽高次脳機能障害など多様な種類と特性があります。障害のある人に配慮するためには、それぞれの障害の特性を理解することが必要です。5面。

また、聴覚言語障害に対する手話や視覚障害に対する点字など多様なコミュニケーションの手段もあります。本市は、広報紙を読みにくい人のため音声版の広報を発行。このほか、手話奉仕員や要約筆記者の養成講座などを実施し、誰もが障害のある人とコミュニケーションの場を設けています。ぜひ、本紙の手話コーナーを読んだり、各講座に参加したりして障害への理解を深めましょう。